



年をとっても、認知症になっても、最期といわれても

# 「やっぱり、家がええ」

みのり農業協同組合 加東ケアセンター（加東市）

- 定期巡回・随時対応型訪問介護看護 管理者 福田雅美
- 居宅介護支援 管理者 平尾智洋



1

## 在宅介護へのこだわり



ほんま、  
そやねえ

高齢になっても、認知症になっても  
最期といわれても、  
誰もが住み慣れた地域、我が家で  
自分らしく暮らしたい。  
地域やJAを支えてくださった方々の

やっぱり、家がええ

という思いが叶えられるよう、  
在宅介護にこだわり、  
JAらしい地域密着の  
介護事業を展開しています。



## 2

## 在宅を諦めない事業体制へ

居宅介護支援、訪問介護から始まった介護事業。通所介護も開設し、利用者様と一緒に年を重ねていく中で一番つらかったのが「もう家は無理やなあ」という言葉です。

私たちに、もっと力があつたら。その思いが原動力となり、小規模多機能、定期巡回の2事業を開設しました。

- 居宅介護支援（2000年～）
- 訪問介護（2000年～）
- 通所介護（2007年～2017年）
- 小規模多機能型居宅介護（2014年～）
- 定期巡回・随時対応型訪問介護看護（2017年～）
- ヘルパー養成研修（2000年～2019年、360名養成）



# 3

## 定期巡回サービスの体制



私たちの事業所の特徴は、訪問介護と定期巡回の両方を運営していることです。昔ながらの「ヘルパーさん」と一緒に利用者様のお宅へと車を走らせています。コール当番制を採用せず必ず夜勤者を配置して、24時間訪問ができる体制を整えているのも特徴です。

### 事業所

- 併設事業  
居宅介護支援  
訪問介護



### 職員数

- 所在地 加東市沢部 6 | 3
- 常勤 6 人 (計画作成責任者・訪問介護員)
- 非常勤 3 4 人  
(訪問介護員)



## 4

## 事例紹介/利用者情報



Hさん

87歳・男性

独居（近隣に家族あり）

介護度 要介護3 → 4

既往歴 脳梗塞（2015年）、胸椎圧迫骨折（2019年）  
廃用性症候群、肺炎  
腰椎圧迫骨折、過敏性腸症候群

この家で生まれ育ったHさん。明るく社交的で、人が集まってくる家だったそうです。

18歳で就職した建設会社を定年まで勤めあげ、  
その間、4町あった田んぼを奥様が一手に引き受けてこられたことを  
今でも「よう働いてくれた」と感謝の言葉を述べられます。

62歳のときに奥様が脳梗塞で倒れてから、ご自身が78歳で脳梗塞になるまで、  
要介護5の奥様を我が家で献身的に看てられました。

19年間介護をした奥様に先立たれ、情緒不安定、物忘れが進行、引きこもり状態に。  
失禁・失便に悩み、入院して治療するも改善の兆しが見えず

「（失禁・失便が続いて）しんどい。早く施設に入りたい…」が口癖に。

2024年3月、肺炎と腰椎骨折で入院し3ヶ月が経った頃、

「…本当は自分が建てた家に帰りたい…」と本音を漏らされたのです。





## 4

## 事例紹介/週間スケジュール② (退院・定期巡回利用後)

(要介護4)

		提供時間	月	火	水	木	金	土	日	サービス項目
0:00	深夜									2024年7月から
2:00										
4:00		5:00~5:20	定期巡回	定期巡回	定期巡回	定期巡回	定期巡回	定期巡回	定期巡回	
6:00	早期									
8:00	午前	8:30~8:50	定期巡回	定期巡回	定期巡回	定期巡回	定期巡回	定期巡回	定期巡回	紙パンツ・パッド交換、健康チェック、安否確認、服薬介助・確認、水分補給、料理温め、移動・移乗介助、陰部洗浄
10:00		9:00~9:30	訪問看護							
12:00	午後	12:00~12:20	定期巡回	デイサービス	定期巡回	定期巡回	デイサービス	定期巡回	定期巡回	トイレ・紙パンツ・パッド交換、安否確認、服薬介助・確認、水分補給、料理温め、移動・移乗介助 訪問診療は月2回
14:00										
16:00		15:00~				訪問診療				
18:00	夜間	18:00~18:20	定期巡回	定期巡回	定期巡回	定期巡回	定期巡回	定期巡回	定期巡回	トイレ・オムツ・パッド交換、安否確認、服薬介助・確認、水分補給、料理温め、移動・移乗介助、陰部洗浄
20:00										
22:00	深夜	23:00~23:20	定期巡回	定期巡回	定期巡回	定期巡回	定期巡回	定期巡回	定期巡回	オムツ・パッド交換、水分補給、戸締り

## 4

## 事例紹介/定期巡回の利用前・利用後



	利用前	利用後
在宅サービス	<ul style="list-style-type: none"> <li>●訪問介護（週4×1日1回訪問）</li> <li>●デイサービス（週5）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●定期巡回（週7×1日5回訪問）</li> <li>●デイサービス（週2）</li> <li>●療養管理指導（薬剤師）</li> <li>●訪問診療（かかりつけ医）</li> <li>●訪問看護</li> </ul>
排泄	<ul style="list-style-type: none"> <li>●訪問介護の訪問時（11:30~/17:30~）には排泄介助を行うが、排便コントロールが難しく、便汚染・尿汚染が多い</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●利用直後は便汚染が多かったが、療養管理指導（薬剤師）のもと訪問診療・訪問看護との連携がスムーズに行え、便汚染が減少</li> <li>●尿汚染に対してもこまめなパッド交換で対応</li> </ul>
保清・更衣	<ul style="list-style-type: none"> <li>●訪問介護の訪問時（11:30~/17:30~）に更衣</li> <li>●朝は汚染された状態でデイサービスの送迎車に乗車するしかない状況</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●訪問回数が増え朝夕の訪問時に陰部洗浄が可能に</li> <li>●訪問看護の介入で皮膚トラブルを早期発見し、かかりつけ医に連絡、治療につながり改善へ</li> <li>●夜間の痒みからパッドに触わり、動いて尿汚染につながっていたことが解消され、尿汚染が軽減</li> </ul>
食事	<ul style="list-style-type: none"> <li>●昼食はデイサービスと訪問介護</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●昼食は家族が準備したものを定期巡回で温めて提供</li> </ul>
ご利用者様の様子	<ul style="list-style-type: none"> <li>●デイサービスが楽しみ</li> <li>●不安になると「早く施設に入りたい」「どこかに行きたい」等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●訪問時にはポータブルトイレに移動、食事は食卓に移動</li> <li>●椅子に座られると表情も明るくにこやかに「今が幸せや」「ええ時代になった」</li> </ul>



## 4 事例紹介 / 「みんなに感謝や 今日も生きてる」



H様

入院して「やっぱり、家がええ」と思った  
帰ってこれて良かった  
みんなに感謝や 今日も生きてる

どこに聞いても「帰るのは無理」「どこか施設を探したほうが良い」と  
病院でも、そのとき担当していたケアマネさんにも言われました。  
だけど本人の「帰りたい」と涙したのを見て“帰してやりたい”と思いました。  
リハビリを見て「これだけ歩けるなら帰っておいで」と  
他の家族も言ってくれました。  
だけど実際帰ってきてどうなるのか、とても不安で  
どこに相談したらいいのかさえ分からなかった時がありました。  
JAに飛び込みで相談に行くとJAのケアマネさんが話を聞いてくれ、  
定期巡回というサービスがあるのを知り  
『大丈夫ですよ』と言ってもらえたことでホッと安心しました。



近隣ご家族

実際、定期巡回を利用してみて、以前と違って  
来てもらえる回数がすごく増えたことで安心しています。  
今の事がすぐにわかって助かってる。  
先生も看護師さんも薬剤師さんも  
皆さんにお世話になって良かったです。



# 4

## 事例紹介 / 「定期巡回だから作れたチームH」



平尾ケアマネ

5月にご家族が地域包括支援センターに相談後、「“家に帰りたい”という願いを叶えてやりたい、何とかならないか」とJAに飛び込んで来られました。状況をお伺いして「定期巡回サービス利用であれば、在宅生活を再開できるかもしれない」と思いました。短期記憶障害、腰椎圧迫骨折による疼痛増強によるADL低下、独居、それらから転倒のリスク大でしたが、退院日に全関係者が集まり「チームH」を結成しました。

- ①判断力、筋力の低下 ⇒ 転倒しても骨折を予防する治療  
転倒を予防できる環境整備（居室内の配置見直し）転倒しても早期発見
- ②夏場の栄養の確保、水分の摂取 ⇒ 家族の協力とこまめな定期訪問
- ③薬のタイミングをかかりつけ医に相談 ⇒ 1日1回に内服変更
- ④1日数回の軟便、排泄介助 ⇒ こまめな定期訪問

定期巡回サービスの導入は、

家族・医療・介護の役割を明確にし、交通整理することでご家族の負担感が軽減され、タイムリーに状態の共有ができる強みがあります。問題が発生すれば即、対応！

「チームH」は本人の願いを叶え、家族の関係性まで深めます。

「家に帰れます」と言いきれぬ確信はありません。まず1週間やってみましょう。

1週間家にいたら1ヶ月いれます。定期巡回サービスは、チームの目となり手となり暮らしのベースを支えてくれます。それが「チームH」の安心につながっています。



# 5

## 定期巡回だからできること



### 24時間を 通してのケア



H様は長年失禁・失便に悩まされ、薬を調整するために入院しましたが改善は叶いませんでした。引きこもり状態になり一時的に近隣ご家族と疎遠になったのは、衣服の汚れや尿臭を気にされてのことかもしれません。H様が心身ともに健やかに過ごすには頻回の排泄ケアと更衣が必要と考え、

- ① 5:00～
- ② 8:00～
- ③ 12:00～
- ④ 18:00～
- ⑤ 23:00～

という深夜帯を含めた1日5回訪問でケアを行い、気持ちよく過ごしていただいています。

### 多職種連携の 橋渡し役



私たちが定期巡回で使っている介護システムは、インターネット上で訪問時の介護記録をご家族、訪問看護、ケアマネジャーにもリアルタイムで見えていただける仕組みです。バイタル、当日のご様子、ケアの内容といったヘルパーが集めた情報を医療の目で見えていただくことができるので、定期巡回が介護から医療への橋渡し役となり、法人を超えた多職種での支援が実現しています。

## 6 定期巡回で「やっぱり、家がええ」を叶えたい



お元気だった地域の方が、入院・入所で在宅を離れ在宅復帰が叶わなかったという話を耳にするたびに、

「定期巡回だったら帰れたかもしれない」という思いにかられ、定期巡回を周知しきれていない自分たちの力不足を感じます。定期巡回は魔法のサービスではありません。

ですが、H様のように定期巡回をご利用いただいたからこそ、「やっぱり、家がええ」を叶えることができました人がいます。

この場をお借りして皆さんにお願いします。

定期巡回というサービスの存在、このサービスだからできることを知ってください。そして、在宅復帰を願う方の選択肢に加えてください。「やっぱり、家がええ」を叶えるために。

家がええなあ

家がいいですね

